



安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	37-8938-5	版	1.00
発行日	2022/03/07	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3MTM 保護剤 PM-3888

3M スtockナンバー

UU-0090-1231-9 UU-0090-1232-7 UU-0092-0989-9

7100138865		7100138 836		7100150 713					
------------	--	----------------	--	----------------	--	--	--	--	--

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コンシューマービジネスグループ
電話番号	042-779-2173

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚感作性： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H402	水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

急性毒性（経口）区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。 眼の損傷/刺激性区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。 皮膚の腐食/刺激性区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。 皮膚感作性区分は試験結果に基づいて割り当てられている。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	60 - 80
炭化水素ウレタンポリマー	営業秘密	20 - 40
プロピレングリコール	57-55-6	1.0 - 10
ポリ（オキシエチレン）＝3，5－ジメチル－1－（2－メチルプロピル）ヘキシル＝エーテル	60828-78-6	1.0

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

応急処置は不要。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。火災周辺に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物**物質**

アミン化合物
一酸化炭素
二酸化炭素
硫化水素
刺激性蒸気あるいはガス
硫酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健

康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
プロピレングリコール	57-55-6	AIHA	TWA(エアロゾルとして):10 mg/m ³	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

適用しない

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理・化学的性質**

外観	液体
物理的状態:	ディスパージョン
色	乳白色～琥珀色
臭い	僅かな臭い
臭いの閾値	データはない。
pH	3 - 7
融点・凝固点	適用しない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	94 - 95 °C
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1 g/ml
比重	1 [参照基準: 水=1]
溶解度	<=0.065 mg/l
溶解度 (水以外)	<=0.0013 g/l [詳細: n-オクタノール]
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	適用しない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	60 - 80 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	適用しない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

吸入した場合

人体への健康影響は考えられない。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
プロピレングリコール	皮膚	ウサギ	LD50 20,800 mg/kg
プロピレングリコール	経口摂取	ラット	LD50 22,000 mg/kg
ポリ(オキシエチレン) = 3, 5-ジメチル-1-(2-メチルプロピル)ヘキシルエーテル	皮膚	ウサギ	LD50 8,874 mg/kg
ポリ(オキシエチレン) = 3, 5-ジメチル-1-(2-メチルプロピル)ヘキシルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 3,300 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	In vitro data	刺激性なし
プロピレングリコール	ウサギ	刺激性なし
ポリ(オキシエチレン) = 3, 5-ジメチル-1-(2-メチルプロピル)ヘキシルエーテル	ウサギ	刺激物

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	In vitro data	刺激性なし
プロピレングリコール	ウサギ	刺激性なし
ポリ(オキシエチレン) = 3, 5-ジメチル-1-(2-メチルプロピル)ヘキシルエーテル	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	マウス	感作性あり
プロピレングリコール	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
プロピレングリコール	In vitro	変異原性なし
プロピレングリコール	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	皮膚	マウス	発がん性なし
プロピレングリコール	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 10, 100 mg/kg/day	2 世代
プロピレングリコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 10, 100 mg/kg/day	2 世代
プロピレングリコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1, 230 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
ポリ(オキシエチレン) = 3, 5-ジメチル-1-(2-メチルプロピル)ヘキシルエーテル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1, 370 mg/kg/day	117 日
プロピレングリコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 5, 000 mg/kg/day	104 週
ポリ(オキシエチレン) = 3, 5-ジメチル-1-(2-メチルプロピル)ヘキシルエーテル	経口摂取	肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1, 000 mg/kg	89 日

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分

の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
プロピレングリコール	57-55-6		実験	10 日	LC50	6,983 mg/kg (乾燥重量)
プロピレングリコール	57-55-6		実験	96 時間	LC50	18,800 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	緑藻類	実験	96 時間	EC50	19,000 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	40,613 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	18,340 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	15,000 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	13,020 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	バクテリア	実験	18 時間	NOEC	>20,000 mg/l
ポリ（オキシエチレン）＝ 3，5－ジメチル－1－ （2－メチルプロピル）ヘ キシル＝エーテル	60828-78-6		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			該当なし

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI(1)
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生分解性	64 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	95.8 DOC除去%	OECD テストガイドライン 306（海水中生分解性試験）
ポリ（オキシエチレン）＝ 3，5－ジメチル－1－ （2－メチルプロピル）ヘ キシル＝エーテル	60828-78-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	20 %BOD/COD	OECD 301D - クローズドボトル法

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.07	EC A.8 Partition Coefficient
ポリ（オキシエチレン）＝ 3，5－ジメチル－1－ （2－メチルプロピル）ヘ キシル＝エーテル	60828-78-6	推定値 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	3.82	POW 分配係数

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

化管法：第1種指定化学物質

消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
ポリ（オキシエチレン）＝ 3，5－ジメチル－1－（2－ メチルプロピル）ヘキシル ＝エーテル	該当なし	第1種407（ポリ（オキシエチ レン）＝アルキルエーテル（ア ルキル基の炭素数が12から15 までのもの及びその混合物に 限る。））	該当なし

16. その他の情報

改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。